

多発している台風被害から 起こりうる“いざ”に 備える



姉妹都市 大崎市鹿島台地域の浸水被害
(令和元年10月14日正午頃撮影・大崎市提供)

昨年、当別町では、台風 21 号による強風の被害、胆振東部地震によるブラックアウトが発生し、今年には日本各地では台風が上陸するなど、自然災害による甚大な被害が日本各地で続いています。

今後も起こりうる自然災害などに備えようと、当別町内では町内会で組織する「自主防災組織」を中心に、防災への取り組みがさらに高まっています。活動実績から、今後の備えについて考えてみましょう。

当別町防災セミナー

町では、今年度は2回の防災セミナーを開催し、町民の皆さんと一緒に、防災マップを用いて「備え」をテーマに話し合いました。

1 回目

9 / 8

in ゆとろ
35 人参加

『気軽にトークの 防災カフェ』

①もしものとき、あなたは どんな行動を？

当別町防災マップから過去の水害を振り返り、町の強いところ弱いところを発見・理解し、今後起こりうる災害からの避難や日ごろから取り組めることなどを話し合いました。

【各班から出た意見】

- ・ 近所の人と連携することが必要。
- ・ 要配慮者を町内会で把握し、避難所はどこになるかを周知する。
- ・ 10 戸単位で組織を作り、情報を集約する。
- ・ 他人任せにしないで自分の避難行動を考える。
- ・ 過去に基づいた情報で経験を生かす。

- ・ 防災リーダーを育てる。
- ・ 自分のことは自分で守る自助教育

②起こり得る災害に向けて

地域・家庭・グループでできることは？

『できる』をテーマに、「私たちができることは？」「どのようにしたらできる？」など、話し合いました。最後に、災害に備えて『できる』ことから始めることを確認しました。

【各班から出た意見】

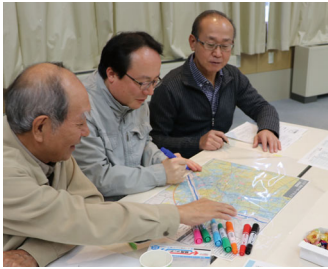
- ・ 複数の町内会で訓練を実施しているところもある。合同実施をすることで協力しながら災害に備えることも大切。
- ・ 自分だけでなく、家族や町内会など外に対して情報発信をすることで取り組みを広げていく。
- ・ 一人で答えが出るものではないので、家族や町内会、サークルなどで日ごろから「備え」について話し合うことが必要。
- ・ 地域のコミュニケーションが何よりも必要。



2回目
10/20
in ゆとろ
30人参加

『災害イメージゲーム DIG ～地図から災害・ まち・ひとを知る～』

当別町防災マップに掲載している「ハザードマップ」
をもとに、災害時に備えて知っておく必要がある箇所
を地図に書き込みました。



- ①自宅 ②避難所と
なる学校、公共施設、
公園 ③病院、診療
所、福祉施設 ④スー
パー、コンビニ、商店
⑤重要な道路、橋、
河川 ⑥危険箇所等

地図に記入してからは、「参加者で避難勧告が出た
らどのような行動をするか?」「避難所には何を持っ
ていくか?」などを、話し合っ発表しました。

【各班から出た意見】

避難勧告が出たらどうするか?

- ・歩いて避難することができるか情報収集をする。避
難所まで移動できなければ、自宅の2階に避難する。
- ・早めに避難するように心がける。
- ・近所の方に、一緒に避難するように呼び掛ける。
- ・避難する時は戸締りの確認、ブレーカーを落とす、
ガスの元栓を閉める。

避難所には何を持っていくか?

- ・日ごろから持ち物リストを用意しておく(薬、入れ
歯等自分に必要なものを事前に確認)。
- ・非常用持出袋(水、食料、ライト、ラジオ等)を
準備しておく。
- ・携帯電話の充電器

最後に講師から、「家族や町内会等の地域でどのよ
うに避難行動をとるのか」「避難所に何を持っていく
のか」を日ごろから考えることが必要と、アドバイス
がありました。

地域や団体で 防災への取り組みが広がっています

10/13
in 西当別
コミセン
160人参加

西当別連絡協議会 地域防災力強化研修



西当別連絡協議会では、毎年、防災訓練を実施
しています。今年は当別消防署から講師を招き、
「救命訓練や消火訓練」などを実施しました。役
場からは段ボールベッド、簡易トイレなどの展示
を行い、避難所生活へのイメージをしてもらいま
した。



東町町内会 防災出前講座

10/24
in 森の道
会館
25人参加



東町町内会では、久しぶりの防災出前講
座でした。当別町で起こりうる災害につい
て説明し、自助・共助について参加者で話
し合いました。

10/27

in 樺戸会館
50人参加

樺戸町町内会防災出前講座



今年10月に発生した台風19号で被害を受けた姉妹都市宮城県大崎市の被害状況の報告と、当別町内で起こりうる災害についての説明、災害時に対する備えについて説明しました。

11/6

in 西当別
コミセン
30人参加

西当別地区保健推進員 防災出前講座



※講座内容は
上記と同様

10/27

in 当別中
200人参加

末広・美里・錦町・下川 4町内会合同避難訓練



大雨による避難勧告を想定して4町内会が主催で、当別中学校・航空自衛隊当別分屯基地・当別消防署・役場が協力し、避難訓練を実施しました。避難者が徒歩で当別中学校に避難し、町内会役員が受付・誘導・避難所の区割りをを行い、実践に近い方法で訓練をしました。また、民生委員・町内会・航空自衛隊当別分屯基地が協力し、要配慮者の避難も実施しました。参加者からは、「避難所を運営するためにも複数の町内会が協力しながら訓練をすることで、災害への備えにつながる」との意見がありました。



防災の出前講座を実施中！

町内会、高齢者クラブ、気の合う仲間同士で 防災について考えてみませんか？

当別町では、地域の皆さんと協力しながら、安全で安心なまちづくりにつなげようとして取り組みを進めています。災害は起こってしまったから考えるのでは、対応遅れにつながります。日ごろから町内会、家族、身近な人で集まるサークルなどで、「災害への備え」を考えておくことが必要です。町内会やサークルなどの団体のほか、個人的な仲間同士でも構いません。「防災について知りたい」という要望があれば、役場総務課総務係までご連絡ください。

★当別町で行っている訓練

- ・ **防災講座** 近年発生している災害から「自助・共助・公助」についてを学び、当別町で起こりうる災害への日ごろからの心構えについて考えます。

- ・ **HUG** 避難所運営ゲームの略。真冬に地震が発生した想定で、「自主防災組織（町内会）の役員、行政機関、避難者がどのように協力して避難所を運営するか」を疑似体験します。
- ・ **DIG** 災害図上演習の略。地図を用いて、避難所・危険な場所・川や道路の状況を書き込み、「どのように安全に避難するか」「災害時に有効に使える施設はないか」を参加者で確認します。



DIGで実際に書き込んだ地図

～当別町から姉妹都市 大崎市へ～

町職員を災害派遣

姉妹都市の宮城県大崎市では、台風19号に伴う豪雨によって、河川から越水するなどの浸水被害が発生しました。当別町では、10月25日から11月8日にかけて、町職員11人を順次派遣し、災害ごみ処理や避難所運営の支援などを行いました。

最も浸水被害の大きかった大崎市鹿島台地域では、10月13日の未明に地域を流れる吉田川から越水したことにより、最大で2.8m浸水するといった被害を受けました。鹿島台での避難者は最大312人、11月15日時点で35世帯・84人の住民が避難所で生活していたということです。



集積された災害ごみを
トラックに積み込み作業
をする町職員



大崎市鹿島台地域の浸水被害
(令和元年10月14日正午頃撮影・大崎市提供)

台風19号被害に対する義援金をお送りしました

当別町では、台風19号の被害を受けた姉妹都市の大崎市に対して、市民生活の復旧や復興に生かしてもらおうと、300万円の義援金をお送りし、11月18日には宮司町長、後藤議長がお見舞いのため大崎市を訪問しました。



防災情報を活用しましょう！

災害から身を守るためには、町民一人一人が防災知識を身に付けるとともに、自ら災害情報を入手することがとても重要です。町や関係機関で発信している情報を入手し、災害に備えましょう。

・当別町防災情報メールの配信

メール配信の登録を行うことで、町内の気象情報や防災情報などを受け取ることができます。

「bousai.tobetsu-town@raidan.ktaiwork.jp」に空メールを送信して、手続きします。



・「Yahoo! 防災速報」アプリ

スマートフォンにアプリをダウンロードし、各

種設定を行うことで、当別町の気象情報、避難情報、河川情報等を受け取ることができます。



・気象庁防災情報

気象庁が発表する防災情報を閲覧できます。

<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>



・北海道電力停電情報

どこで停電が発生しているか確認できます。

<http://teiden-info.hepco.co.jp/>



★防災に関する問合せ

総務課総務係 ☎ 23 - 2330